

新設
小学校

大畔地区（2022年 4月開校）に続き…

今度は、市野谷地区（2025年 4月開校）に計画



流山市議会議員

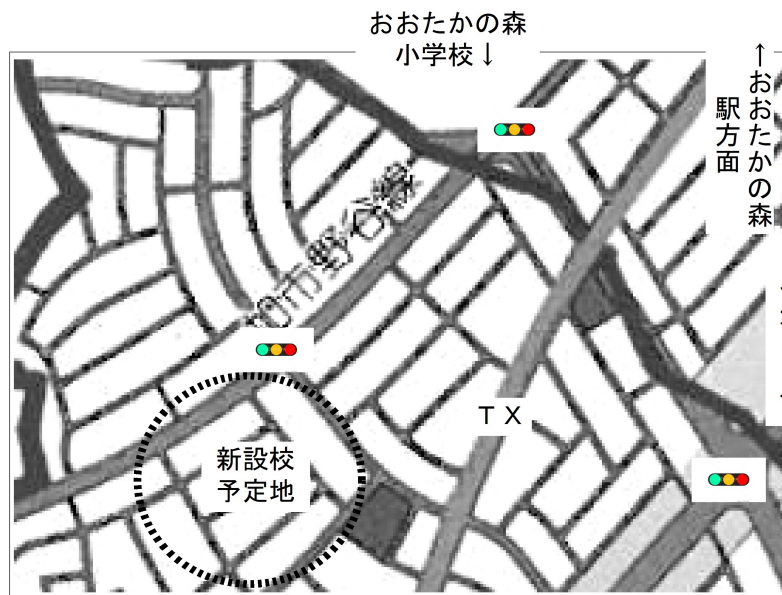
小田 桐たかし

**開発のツケ、失政のツケを
子どもに、街づくりにまわすな**

人口増加地区で学校の規模や配置について計画をつくるのが常識ですが、流山市はありません。また教室不足なのに、大規模マンションと人口誘致…。開発と失政のツケを子どもや街づくりにまわさないために、ご一緒に力を集めましょう。



おおたかの森西口から江戸川台へ向かう道路。セキチュウとスーパーベルクの間にある交差点。事故が相次ぎ、自治会と共同して要望。一時停止線の設置が議会答弁で分かりました。



児童急増が止まりません。「これで最後の学校建設」と豪語していた井崎市長の思惑とは裏腹に、新設小学校は、大畔地区、そして市野谷地区にまで…

「子どもの生活も、学校も、地域も振り回されっぱなし…」

11月28日開会する流山市議会（R1年第4回定例会）の冒頭、市長の市政方針で、おおたかの森駅周辺の小学校新設について新たな決定が報告されることが、19日の市議会全員協議会で分かりました。

場所は、おおたかの森小学校とは直線距離で300メートル。子どもの学校生活や学区問題が再浮上。小学校を拠点とする地域活動をはじめ、自治会活動にも影響が心配されます。